

# 三保地区

社会福祉協議会

地区社協訪問

## 「みんなで創ろう三保ふれあいの街・福祉の街」

三保地区社協は、地区内で活動するグループと横断的に繋がり、様々な地域行事の一端を担っています。みんなで繋がり協力し合うことで、福祉の輪が広がります。

### 「子どもフェスタ」 11月

三保地区連合子ども会主催、青少年指導員・三保おやじ団・地区民児協の協力で大上公園にて、餅つき・芋煮・ゲーム・昔遊び(けん玉・紙飛行機)等を楽しみました。300名の参加がありました。



### 「三保ミニデイ クリスマス会」 12月

三保地区に住む60歳以上で、自分で会場まで来られる方を対象にミニデイサービスを実施しています。お茶会・太極拳・脳トレ・体操など、毎月違ったレクリエーションが準備され、参加者に好評いただいています。毎年クリスマスには近隣の施設を会場に、クリスマス会を開催。食事、音楽、折り紙など盛りだくさんの内容です。毎月第2金曜日 三保町自治会館



これからも、地域の子どもからお年寄りまで、楽しく学び・遊び・暮らせるための場所づくりをお手伝いしていきます。



### 「昔あそび」 12月

毎年、三保小学校1年生を対象に、「こままわし」「あやとり」「おてだま」といった昔遊びを教えています。普段と違う遊びに、子どもたちも興味津々です。

### 「防災マップ・地域活動マップの作成」

みどりのわ・ささえ愛プランの取組みでマップを作成しました。もしもの時に役立つ「いっとき避難場所」の情報や、地域の活動の内容を見やすく紹介しています。



## 災害時支援の取り組みをご紹介します

### ■災害ボランティアセンター開設訓練の実施

12月7日(日)ハーモニーみどりまつりにて、大規模災害発生時にボランティア活動の拠点となる「災害ボランティアセンター」の開設訓練を行いました。ボランティアで受付やマッチング、オリエンテーション、活動報告などを行い、いざ災害が起きた時のボランティアセンターの役割、一連の流れ、心得などの確認を行いました。



ハーモニーみどりまつり来場者にも参加していただきました。

### ■災害時の回覧板を使用した取り組み

緑区社協の福祉施設等分科会では、施設間の互助として、災害が起きた時にそれぞれの施設が協力し合えるよう、回覧板を回す実施訓練を行っています。「いざという時の備え」を施設の視点から考えます。



施設同士が「向こう三軒両隣」のつながりをつくっていきます。

## 緑区で市民後見人が誕生しました



緑区社会福祉協議会では、平成24年度より、西区・青葉区とともに、モデル区として市民後見人の養成をしてきました。平成25年度末で15名が養成過程を修了し、平成26年8月には、第1号の市民後見人が誕生し、現在区内で3名の方が家庭裁判所から選任され活躍しています。

緑区社会福祉協議会では、講座修了者15名に、市民後見人のスキルアップを目的として、支援機関との関係づくりや福祉サービスの情報提供、自主学习グループ「緑市民後見の会」の運営支援などを行っています。

これまでは成年後見制度は、敷居の高い制度と思われがちでした。

しかし、住み慣れた地域で、地域のことを知っている、同じ市民目線で、被後見人に寄り添う支援を行う市民後見人が誕生したことで、成年後見制度が身近になり、皆さんの地域に新たな「助け合い・お互いさま」が増えることとなりますね。

### 緑区社協までの案内図

